



トラブルシューティング

この章では、次の内容について説明します。

- [LED とコンポーネントの位置, on page 1](#)
- [LED の状態の定義, on page 1](#)
- [内部リカバリ パーティション \(IRP\) からのリセット, on page 1](#)
- [電力特性評価チェックによるブートアップ時の遅延, on page 2](#)

LED とコンポーネントの位置

このアプライアンスのパネルレイアウトについては、以下で説明されています。

- [前面パネルのレイアウト](#)
- [背面パネルレイアウト](#)

LED の状態の定義

さまざまな LED の状態は、『[Cisco UCS C220 M6S Server Installation and Service Guide](#)』で定義されています。

内部リカバリ パーティション (IRP) からのリセット

Cisco Expressway CE1300 アプライアンスには、アプライアンスを工場出荷時の状態に再インストールするために使用できる M.2 デバイスがプリインストールされています。

はじめる前に

「[インストールウィザードを実行する](#)」の説明に従って、CIMC を設定してアクセスする必要があります。

タスク：KVM コンソールを使用して IRP を再インストールする

タスク：KVM コンソールを使用して IRP を再インストールする

- ステップ1 KVM コンソールを CIMC 内の該当アイコンを使用して起動します。
- ステップ2 CE1300 に電源を投入し、プロンプトが表示されたら F6 キーを押して boot menu と入力します。
- ステップ3 ブートオプションとして [USER: Built-in EFI Shell] を選択します。
EFI シェルがロードされ、5 秒後にデフォルトで startup.nsh が起動され、リカバリイメージがロードされません。
- ステップ4 プロンプトが表示されたら、y と入力し、Enter キーを押して再インストールに進みます。
ログインプロンプトが y の入力を妨げる場合があります。Enter キーを押してプロンプトをバイパスし、再度 y を押して再イメージ化を起動します。
- ステップ5 リポートが完了したら、シリアルを使用して接続してリセットを完了します。工場出荷時インストールウィザードが表示されます。
- ステップ6 必要に応じて、アプライアンスのオプションキー (ルームやデスクトップの登録など) を適用することができます。このステージで適用しない場合でも、後で Expressway の Web UI または CLI を使用して適用することもできます。
- ステップ7 プロンプトが表示されたら、Enter キー を押してシステムをシャットダウンします。
工場出荷時インストール ウィザードのフェーズが完了しました。
- ステップ8 アプライアンスに電源を入れ、「インストールウィザードを実行する」の手順に従って、カスタマーインストール ウィザードを完了します。

電力特性評価チェックによるブートアップ時の遅延

電源特性評価テストは、CE1300 を接続して電源を投入したときに 1 回のみ実行されます。電源特性評価テストが実行し続けて、ブート時間にラグが発生する場合は、CIMC でこれが無効になっていることを確認します。手順は次のとおりです。

- ステップ1 CIMC にログインします（「[CIMC Serial Over LAN を使用した接続](#)」を参照）。
- ステップ2 左上隅にあるメニューの矢印をクリックします。
- ステップ3 [シャーシ (Chassis)] > [電源管理 (Power management)] > [電力制限の設定 (Power Cap Configuration)] に移動します。
- ステップ4 [電力特性評価の無効化 (Disable Power Characterization)] をクリックします。
- ステップ5 [変更の保存 (Save Changes)] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。